

益田地区広域市町村圏事務組合（以下「広域組合」という。）は、民間資金等の活用による公共施設の整備等の促進に関する法律（平成11年7月30日 法律第117号、以下「PFI法」という。）第7条の規定に基づき、益田地区広域クリーンセンター整備及び運営事業（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者の選定を行い、「益田地区広域クリーンセンター整備及び運営事業に係るPFI事業者審査委員会（以下「審査委員会」という。）」からの審査報告に基づき、落札者を下記のとおり決定いたしましたので公表します。なおPFI法第8条の規定に基づく客観的評価の結果については、後日公表する予定です。

平成17年3月14日

益田地区広域市町村圏事務組合  
代表理事 益田市長 牛尾郁夫

#### 益田地区広域クリーンセンター整備及び運営事業における落札者の決定について

1. 落札者 : Fグループ

代表事業者 三菱重工業株式会社

構 成 員 三菱重工環境エンジニアリング株式会社、高橋建設株式会社

協力事業者 三菱商事株式会社、西部重環オペレーション株式会社

2. 落札金額 : 金8,000,000,000円（消費税及び地方消費税を除く）

## 1. 第二次審査までの経緯

本事業については、平成 16 年 3 月 1 日に実施方針を公表し、8 月 5 日に特定事業として選定しました。その後、8 月 6 日に入札広告を行い、9 月 30 日には 9 グループ（応募者番号 A ～ I）から参加表明書を受付けました。

平成 16 年 11 月 5 日（金）に 8 グループ（A グループは辞退）から第一次審査書類を受け付け、審査委員会における審査の結果 3 グループが第一次審査通過者として選定されました。広域組合はこの結果を受けて以下の企業を代表事業者とする 3 グループを第一次審査通過者として決定いたしました。

### 第一次審査の通過者（3 グループ）

応募者番号	代表事業者
D	エコマネジ株式会社
F	三菱重工業株式会社
H	電源開発株式会社

## 2. 第二次審査の概要

審査委員会における第二次審査の概要は以下のとおりです。

### （1）第二次審査対象グループ

以下の 2 グループが第二次審査書類を提出されました。

応募者番号	代表事業者
D	エコマネジ株式会社
F	三菱重工業株式会社

注）H グループ（代表事業者：電源開発株式会社）は辞退

### （2）入札価格審査

入札価格が、広域組合が設定する PFI 事業想定価格又は第一次審査で応募者が提出した提案価格を超過していないか否かを入札書により確認しました。「落札者決定基準」により PFI 事業想定価格又は第一次審査で応募者が提出した提案価格を超過している場合は失格とすることとしておりましたが、2 グループとも要件を満たしていました。

### （3）基礎審査

応募者から提出された提案書類の各様式に記載された内容が、入札説明書及び要求水準書に示す最低限の要件を満たしているか否かを審査しました。その結果 2 グループとも当該要件を全て満たしており、また、第一次審査時の提案内容と整合するものであるかどうかを確認し、重大な不整合がないことが認められたため、基礎審査の得点「150 点」を付与しました。「落札者決定基準」により当該要件を一項目でも満たしていない場合、また、第一次審査時の提案内容と重大な不整合があると認められた場合は失格とすることとしておりましたが、失格となる応募者はありませんでした。

( 4 ) 内容審査

内容審査 は、要求水準を満たすことはもとより、応募者が提案する内容が一般廃棄物処理業務の一環として適切かつ柔軟な対応が図られているかについて、要求水準を達成するための具体的方法論及び要求水準を越える具体的提案内容を審査し得点化しました。

具体的には、応募者から提出された内容審査 に関する提案書をもとに、「落札者決定基準」表3（配点100点）に示す28問（74視点）の各設問についてA～Eの5段階評価を行い、2グループの提案内容を得点化しました。

( 5 ) 総合評価値 の算出及び優秀提案の選出

「落札者決定基準」に従って2グループの総合評価値 を求め（小数第4位に四捨五入）、より高い総合評価値 を得たFグループの提案を優秀提案として選出しました。

当該グループの提案内容は、広域組合があらかじめ提示した要求水準を達成するための具体的な方法論及び要求水準を越える具体的な提案内容が示されており、廃棄物処理施設としてのプラント性能を発揮するためのハード面と運営方法や事業スキームの安定性といったソフト面の両面において優れていました。そのため当該グループが施設の整備及び運営を一体的・長期的に行うことにより、広域組合が本事業に期待した、ライフサイクルコストの削減、循環型社会への貢献、斬新で柔軟なサービスの提供を図ることができると判断いたしました。

今後は、更なる検討協議を重ねられ、目的に即したより有意義な事業が推進されるよう望みます。

なお、審査委員会による第二次審査結果、優秀提案の概要及び完成予想図については別紙1～別紙3に示すとおりです。

優秀提案

応募者番号	代表事業者
F	三菱重工業株式会社

別紙 1 審査委員会による第二次審査結果

審査項目	配点	Dグループ		Fグループ	
		評価	得点	評価	得点
<b>1. 事業の総合計画</b>					
(1) 本事業に対する取組方針					
a. 提案内容の概要	5.00	A	5.00	A	5.00
<b>小計</b>	<b>5.00</b>		<b>5.00</b>		<b>5.00</b>
<b>2. 整備計画</b>					
(1) 機械設備の設計・施工					
a. 安定稼動に対する特徴	9.00	C	4.50	B	6.75
b. 安全性確保の考え方及び特徴	9.00	B	6.75	B	6.75
(2) 建築物等の設計・施工					
a. 動線計画	3.00	D	0.75	B	2.25
b. 建築計画(平面・断面計画)	3.00	B	2.25	B	2.25
c. 建築計画(デザイン計画)	3.00	A	3.00	B	2.25
d. 建築計画(仕上げ計画)	2.00	B	1.50	B	1.50
e. 外構施設	2.00	A	2.00	B	1.50
(3) その他附帯業務					
a. 整備工程表	2.00	A	2.00	A	2.00
b. 公害防止、周辺環境への配慮等	2.00	A	2.00	A	2.00
<b>小計</b>	<b>35.00</b>		<b>24.75</b>		<b>27.25</b>
<b>3. 運営計画</b>					
(1) 運営に関する基本計画					
a. 運営人員体制と勤務体制等	5.00	A	5.00	C	2.50
(2) 処理対象物の受入れ					
a. 処理対象物の受入れ方法	4.00	A	4.00	B	3.00
(3) 副生成物の有効利用					
a. 副生成物の有効利用方法	5.00	B	3.75	A	5.00
(4) 環境保全の管理					
a. 計測管理	1.00	B	0.75	A	1.00
b. 情報公開	3.00	A	3.00	A	3.00
(5) 施設の維持管理					
a. 機械設備の維持管理計画	4.00	B	3.00	A	4.00
b. 建築物等の維持管理計画	2.00	B	1.50	B	1.50
(6) その他付帯業務					
a. 施設見学者への対応	5.00	B	3.75	A	5.00
b. 広域組合への所有権移転手続き	1.00	B	0.75	A	1.00
<b>小計</b>	<b>30.00</b>		<b>25.50</b>		<b>26.00</b>
<b>4. 追加溶融施設の整備及び運営計画</b>					
(1) 追加溶融施設の整備及び運営の概要					
a. 整備計画	5.00	A	5.00	A	5.00
b. 運営計画	5.00	A	5.00	A	5.00
<b>小計</b>	<b>10.00</b>		<b>10.00</b>		<b>10.00</b>
<b>5. 事業計画</b>					
(1) 実施体制					
a. 事業実施体制	4.00	A	4.00	A	4.00
(2) 資金計画					
a. 資金調達	3.00	B	2.25	B	2.25
b. 収支計画	6.00	B	4.50	B	4.50
c. 資金不足への対応	1.00	B	0.75	A	1.00
(3) リスク管理方針					
a. リスク分担	4.00	B	3.00	A	4.00
b. 保険の付保	1.00	B	0.75	A	1.00
c. 経営悪化時の対応	1.00	B	0.75	A	1.00
<b>小計</b>	<b>20.00</b>		<b>16.00</b>		<b>17.75</b>
<b>内容審査 の得点合計</b>	<b>100.00</b>		<b>81.25</b>		<b>86.00</b>
基礎審査の得点	150.00		150.00		150.00
合計	250.00		231.25		236.00
入札価格(円)	-		8,280,000,208		8,000,000,000
<b>総合評価値</b>	-		<b>2.7929</b>		<b>2.9500</b>
<b>順位</b>	-		<b>2</b>		<b>1</b>

注) 1. 総合評価値 = { 基礎審査の得点 (配点 150) + 内容審査 の得点 (配点 100) } ÷ (入札価格 × 10<sup>-8</sup>)

2. Dグループ, Fグループともに提案処理方式はストーカ + 灰溶融方式であるため, 「4. 追加溶融施設の整備及び運営計画」については, 満点を付与している。

別紙 2 落札者の提案概要

処理方式	ストーカ + 灰溶融方式
処理能力	焼却炉 62 t / 日 ( 31 t / 日 × 2 系列 ), 灰溶融炉 9.6 t / 日 ( 9.6 t / 日 × 1 系列 )
1 系列あたり稼働日数	焼却炉 315 日 / 年 , 灰溶融炉 220 日 / 年
建築面積及び延床面積	建築面積 : 2,782.50 m <sup>2</sup> , 延床面積 : 3,961.75 m <sup>2</sup>
階数	工場棟 : 地下 1 階 地上 3 階
煙突高さ	59m ( ノズル頂部 )
建物高さ	27.2m
特徴	<p><b>【整備計画】</b></p> <p>ごみ量変動及びごみ質変化への対応力が優れたストーカ + 灰溶融方式を採用する。</p> <p>通常運転時及び地震・火災・停電等の非常時における安全性確保について、長年の運転実績に基づくノウハウを結集した考え方及び方法がある。</p> <p>施設用地内を機能別に区分しエリア毎に設備を集約させた合理的な配置計画とし、搬出入車両等がスムーズに往来できる動線計画である。</p> <p>小学生から高齢者、身障者の方が安心、安全に施設見学ができるバリアフリーでユニバーサルデザインを取り入れた施設計画である。</p> <p>煙突の工場棟一体化、機器の製作過程でのモジュール化等により建設期間を短縮する。</p> <p><b>【運営計画】</b></p> <p>循環型社会構築に貢献するため、溶融スラグ及び金属類を全量有効利用する。</p> <p>情報公開設備及びホームページを活用し、地域住民へ運営情報を積極的に発信する。</p> <p>開放的で安全な見学者コースを設定する。</p> <p><b>【事業計画】</b></p> <p>代表事業者が施設の設計・施工から運転・維持管理・運営に至るまで主体的に業務を実施し、トータル保証することにより責任の一元化体制を確立、事業の安定性を確保する。</p>

別紙 3 落札者の施設イメージ図



本図は参考資料として提出されたものであり、実際の建築イメージとは異なる場合があります。